

【教育目標】
心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより

令和2年1月号
三島町立三島中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://mishima.fcs.ed.jp/>三島中学校



今年の干支（えと）は庚子（かのえね）

変化が多い年

3学期始業式



あけましておめでと
うございます。
令和2年がスタート
しました。
1月8日（水）の始業
式には、三島中の生徒も
元気に登校して、大きな
声で校歌を斉唱しまし
た。
今年には十二支1番目
となる子年、そして4年
に1度のうるう年、さら
にはオリンピッククイ
アと、節目となり何かと
話題の多い年となりま
す。そこで、始業式の式
辞で干支の話をしまし

前略
十二支（じゅうにし）
は、十二種類で数える暦
ですが、これに十干（じ
つかん）という十種類で
数える暦の数え方を組
み合わせたものが、干支
（えと）となります。干
支は十二と十の最小公
倍数で六十年周期とな
り、一周すると「還暦」
（かんれき）を迎えま
す。その干支でいうと
今は庚子（かのえね）
の年となります。この
「庚」と「子」それぞれ
には、特徴があります
が、その特徴を合わせも
つ「庚子」の年は、一言
で表すと「変化の多い
年」になるそうです。
六十年前の一九六〇年
をみても、アメリカでは
ジョンFケネディが大
統領選で勝利し、法律上
の人種差別撤廃につな

後略
昨年中は、保護者の皆
様はじめ地域の皆様の
支えがあって、本校教育
活動の充実及び、子ども
たちの成長がありました。
今年、さらに子ども
たちが地域と関わり、地
域の中で成長できるよ
う取り組んで参ります
ので、どうぞよろしくお
願いたします。



人権意識の高揚に向けて

この度、第39回全国中学生人権作文コンテストへの多大な協力により、中学生の人権意識の高揚に尽力したとして、法務省人権擁護局長並びに全国人権擁護委員連合会会長より本校に感謝状をいただきました。
このコンテストへは、本校の3年生が毎年応募しており、その内容及び応募者の割合等が評価されたものと思われま

感謝状 法務省人権擁護局長 全国人権擁護委員連合会会長



原案としてつくられたもので、子どもたちにとっては、同世代の感覚が新鮮だったようで、互いの考えを出し合い、じっくりと議論する機会となりました。
学校外部の方による授業は、教職員にとって参考になります。
子どもたちは、近い将来、人権擁護を身につけた素敵な大人に成長できるものと考えます。

人権擁護委員による 道徳の授業

感謝状が届くのと時を同じにして、本校では三島町人権擁護委員の二瓶厚さん、本名光子さんによる道徳の授業を行いました。
1年生は、「リスベクト・アザーズ」という動画を観て、アメリカと日本の対人関係を比較しながら、人権を尊重しあうために大切なことは何かについて考える授業でした。

2年生は、「いじめをなくすために、今」という動画を観て、いじめを傍観してしまうことが、重大な結末を招くことがあること、いじめは人権侵害であること、いじめを見抜く力や、いじめを許さない「人権感覚」を身につける必要性があること、について考える授業でした。どちらの動画も、中学生人権作文コンテスト入選作品を



今月の1枚
国指定
重要無形民俗文化財
サイノカミ(宮下地区)
1月15日(水)



県中学スキー大会

福島県中学校体育大会スキー競技が、一月十三日、十五日に、尾瀬檜枝岐温泉スキー場を会場に行われました。本校からは1年生の二瓶佳悟くんが出場し、健闘しました。

オリンピック 聖火ランナーに 五十嵐 望くん

東京2020オリンピックの聖火が、三月二十七日に三島町にやってきました。
そして聖火リレーの出発地が三島中学校となりました。また、その聖火ランナーに、本校2年生の五十嵐望くんが選ばれました。大変名誉なことです。
本校では、東京2020オリンピック・パラリンピック教育実践校「ようい、ドン! スクール」に参加しており、その取り組みとしても、今回の聖火リレーを、三島町とともに、学校あげて盛り上げていきます。